

## ▶ 変わらないために変わり続ける

### 基本理念

変化を力に、共に動く。



先人から受け継いだ美しい風景や大切な営みを、そのままのかたちで次の世代へつなぐことは、決して簡単ではありません。大切なものを守り続けるためには、住民、事業者、行政が手を取り合い、地域社会の仕組みを時代に合わせてしなやかに更新していく必要があります。「変わらないために変わり続ける」——この立ち止まらない姿勢こそが、新しい与謝野町の基本理念です。

## 未来を切り拓く、5つの「分野別まちづくり方針」

基本理念を胸に、与謝野町は次の5つの方向性で具体的なまちづくりを進めていきます。今後は、この方針に基づき、基本計画（施策）の検討を進めていきます。

### 1 育ち学ぶ（子ども・子育て・教育）

まちぐるみの子育てを上げ、自ら学び未来を切り拓く力を育むまちへ

子どもはまちの宝です。切れ目のない妊娠・出産・子育て支援を整え、地域全体で子どもを見守る「まちぐるみの子育て」を広げます。また、地域の自然や伝統を生かした「ふるさと教育」やICTの活用により、子どもたちの生きる力を育みます。

### 2 働き暮らす（産業・仕事・暮らし・環境）

意欲を支え仕事を生み出し、安心して住み続けられるまちへ

働く場の確保に因るため、地域の魅力的な仕事を知ることから始めます。中小企業や農業・林業の新しい挑戦を応援し、お金と仕事が巡る経済を創ります。また、交通手段の確保や防災・減災などへの取り組みも進め、安全で便利な暮らしの基盤を整えます。

### 3 集い楽しむ（観光・交流・文化・スポーツ）

まちの宝を磨き交流を広げ、誰もが「このまちが好き」と胸を張れるまちへ

丹後ちりめん、伝統のお祭り、豊かな農作物など、当たり前の日常にある最高の宝物を磨き上げ、町外のファン（関係人口）を増やします。文化やスポーツを通じて住民が集い学び合える場を作り、移住者もUターン者も誰もが活躍できる環境を整えます。

### 4 認め支え合う（福祉・健康・地域協働）

ちがいを認め合い、対話と支え合いで温かなつながりを育むまちへ

気軽に立ち寄れる居場所や対話の場を地域に増やし、困ったときには「助けて」と言い合える関係を築きます。体と心の健康を守るとともに、一人ひとりの個性を尊重し、多様な生き方を認め合える「心のバリアフリー」なコミュニティを育てます。

### 5 支えつなぐ（行財政運営・情報発信）

持続可能な行政サービスで暮らしを支え、情報と対話で住民参画が広がるまちへ

公共施設の適正な配置や規模の見直しを計画的に進める一方、行政手続きのデジタル化を推進し利便性を高めます（デジタルが苦手な方へのサポートも徹底します）。行政情報を分かりやすく届け、住民の声をしっかり受け止める「開かれた行政」を実現します。

## あなたの声をお寄せください

この基本構想（案）は、これからの与謝野町を住民の皆さんと一緒に創り上げていくための土台です。まちの未来を決めるこの羅針盤をより良いものにするため、ぜひ皆さんの率直なご意見・アイデアをお聞かせください。

- 募集期間 7月15日（水）まで
- 公表方法 町ホームページ  
役場各庁舎の住民税務課窓口
- 提出方法 任意様式に必要事項をご記入のうえ、郵送・FAX・メール・窓口提出のいずれかで提出してください。



町ホームページ

## みんなの声を基本構想（案）に

対話やアンケートで寄せられた声を「基本構想（案）」として取りまとめたのが、与謝野町総合計画審議会（以下、審議会／谷口知弘会長）です。委員16人・オブザーバー1人が、令和7年8月から会議を重ねてきました。

審議会では、第2次与謝野町総合計画の評価・検証や、住民アンケート調査結果、「よさのみらい会議」からの提案書などをもとに、多角的な視点で基本構想（案）の検討を進めました。特に、将来像や基本理念については、「住民にとってわかりやすいものに」との思いを共有しながら、一つひとつの言葉を大切にしながら議論を重ねました。

5月26日には、佐賀町長へ「第3次与謝野町計画 基本構想（案）」として中間答申が行われ、この答申をもとに基本構想（案）をまとめられました。

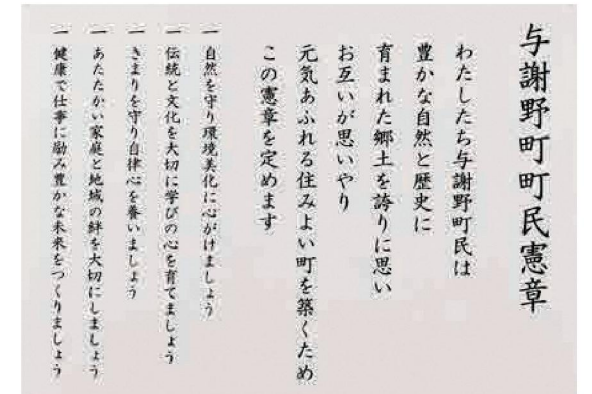


佐賀町長に中間答申書を手渡す谷口会長（中央）と坂中副会長（左）

## 私たちが目指す「将来像」と「基本理念」

### ▶ まちづくりの原点 「与謝野町町民憲章」を受け継ぐ

与謝野町には、平成20年1月に定めた「与謝野町町民憲章」があります。豊かな自然と歴史を誇りに思い、互いに思いやり、元気あふれる住みよいまちを築く——。このすばらしい憲章の精神は、どれだけ時代が移り変わろうとも、私たちのまちづくりの揺るぎない原点です。第3次計画ではこの精神を大切に受け継ぎ、未来へとつないでいきます。



役場各庁舎や公民館、小中学校などに設置してある「町民憲章」

### ▶ 新しい将来像に込められた4つの「想いの輪」

#### 将来像

住み続けたい、帰ってきたい、応援したい、住んでみたいまち。よさの

皆さんの声をもとに紡ぎ出された、これからの与謝野町の将来像です。この将来像には、住民の皆さんの「このまちが好き」という想いから始まる、4つの循環のストーリーが込められています。

#### 1 「住み続けたい」を育む

いま暮らす一人ひとりがこのまちでの日々の生活に喜びを感じ、「ずっとここで暮らしたい」と思える誇りと愛着を育てます。

#### 2 「帰ってきたい」にこたえる

進学や就職で一度まちを離れた人が、戻ってきたときに自分らしく輝ける場を整え、「おかえり」と温かく迎える流れを作ります。

#### 3 「応援したい」を広げる

私たちの「好き」という想いを観光客や関係人口に共鳴させ、まちの魅力に共感してくれる「ファン」や「応援者」を増やします。

#### 4 「住んでみたい」を呼び込む

ファンや応援者が「ここで暮らしたい」と思ったとき、移住希望者を新たな仲間として温かく迎え入れ、外からの新鮮な視点をまちの元気へとつなぎます。